

## INFORMATION

【期間：平成28年－29年】

## 超然プロジェクト講演会

日時：10月11日（火）17:00～18:00

場所：十全記念スタジオ 金沢大学医学図書館2階

梶村 真吾 Associate Professor, UCSF Diabetes Center, Eli and Edythe Broad Center of Regeneration Medicine and Stem Cell Research,  
Department of Cell and Tissue Biology, University of California, San Francisco

「脂肪細胞のエンジニアリングと肥満治療への展望」

ほ乳類には二種類の形態的・機能的に異なる脂肪細胞（白色脂肪細胞と褐色脂肪細胞）が存在する。白色脂肪細胞が主に余剰エネルギーの貯蓄庫として機能するのに対し、褐色脂肪細胞は発熱によってエネルギーを消費し、体温の保持に重要な役割を持つ特殊な細胞である。近年の研究から、ヒト成人においても予想以上に多くの褐色脂肪が存在することが明らかになり、その生体内における役割と肥満治療への可能性に注目が集まっている。

褐色脂肪には二種類の細胞群：胎児期にすでに細胞運命が決定している「既存型」と、成人期において様々な環境要因（例えば長期の寒冷刺激など）により白色脂肪細胞から分化誘導されるベージュ細胞と呼ばれる「誘導型」の熱産生細胞が存在する。近年の研究から、ヒト成人に存在する褐色脂肪は、ベージュ細胞に近い性質を持つことが分かってきた。本セミナーでは、褐色脂肪細胞とベージュ脂肪細胞の発生・分化のメカニズムと生理作用に関わる最近の知見を中心に紹介したい。

## 第21回 日本神経感染症学会総会・学術大会

開催日：平成28年10月21日（金）～22日（土）

場 所：金沢東急ホテル

連絡先：金沢大学医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学（神経内科学）

TEL：076-265-2298 E-Mail：n-infect21@med.kanazawa-ac.jp <http://www.n-infect21.jp/index.html>

本学会は神経系の感染症を専門に扱う、わが国唯一の学会です。対象は、ウイルス、細菌、真菌、寄生虫のような病原体による感染症から、プリオン病のような蛋白異常凝集・蓄積を本態として個体間で伝播する疾患までさまざまです。

第21回の本学術大会では、神経感染症の克服をめざして「神経感染症の分子病態解明と治療法開発の新展開」をテーマに掲げ、感染・伝播の分子機構の解明から、それに基づく新たな治療法の開発まで、神経感染症の研究や診療の最近の進歩や今後の方向について討議いたします。ホットなトピックスから神経感染症の基礎から学ぶことができる教育セミナーまで、さまざまな企画をご用意いたします。

## 脳神経医学リサーチミーティング

神経回路研究の気鋭の若手研究者であるデンマークのAarhus大学の米原圭祐先生が金沢にお越しになられるのを機会に、ご講演を頂き幅広い研究成果をご紹介頂くとともに、深い討論を行いました。教員はもちろんのこと、大学院生や学部学生にも広く開放して、最新の研究成果を知る良い機会となりました。

場所：金沢大学医学図書館2階十全記念スタジオ

日時：2016年12月5日 16時-17時

主催：金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経医学 TEL：076-265-2365 E-mail：kawasaki@med.kanazawa-u.ac.jp

### 第33回石川県臨床細胞学会学術集会

日時：平成29年2月11日（土） 11時～17時

場所：金沢大学附属病院 宝ホール

内容：教育講演、特別講演、一般演題、スライドセミナー

第33回石川県臨床細胞学会学術集会は細胞診断学を基礎的、総合的に討論し、意見交換と交流を通し、細胞診断学のさらなる発展に寄与する会であります。特別講演といたしまして、金沢大学附属病院呼吸器内科 笠原寿郎臨床教授による「肺癌薬物療法と病理・細胞診－相互理解がより良い診療を生む－」、教育講演といたしまして、松波総合病院 病理診断科部長 齊尾征直先生による「SILと鑑別の必要な子宮頸部の異型扁平上皮の鑑別ポイントとその細胞像」を予定しております。

世話人：金沢大学附属病院 病理診断科・病理部 池田博子 TEL：076-265-2027 FAX：076-234-4278

### 第27回金沢歯科口腔外科懇話会

金沢歯科口腔外科懇話会は、平成3年に金沢大学歯科口腔外科研修会としてスタートし、毎年回を重ね今年で27回になります。この会は金沢大学附属病院歯科口腔外科に患者さんを紹介して下さった先生と同窓の先生が集まり、歯科口腔外科の臨床と研究に関する研修を行う事を目的としています。本年は、金沢大学附属病院歯科口腔外科から19題の一般演題と特別講演を予定しています。本年の特別講演は信州大学・歯科口腔外科学教授の栗田浩先生にお願いしました。「顎関節症」の最先端の診療について、とても興味深いお話が聞けます。

日時：平成29年2月18日（土）

場所：金沢エクセルホテル東急

問い合わせ：金沢大学歯科口腔外科医局 TEL 076-265-2444

### 第19回国際患肢温存学会

日時：2017年5月10日（水）～12日（金）

場所：ホテル日航金沢

連絡先：金沢大学整形外科医局 TEL:076-265-2374

概要：本会議の主なテーマ、トピックスは『良性、悪性、転移性の骨・軟部腫瘍、および、骨腫瘍の診断と治療』とし、海外からまた国内からも多数の参加者を迎え、開催をさせていただきます。日本で本学会が開催されるのは、1987年に京都で開催されて以来、30年ぶりとなります。また本学会に、諸外国医師と同時に、多くの日本人医師にも参加していただくことは、我が国の医療技術の高さを諸外国の医師へ示す絶好の機会となると同時に、骨軟部腫瘍の治療成績向上に大きく貢献するものと期待しております。

### 10th International Symposium on Targeted Alpha Therapy, TAT-10

放射性医薬品を用いた悪性腫瘍の治療を内用療法（内照射療法）といいます。抗体等々をキャリアとした分子標的の手法を用いて、放射性核種をターゲットに集積させることにより、それから放出される放射線の殺細胞効果を得ます。これまではβ線核種が主流でしたが、近年、より効果の大きいα線核種が注目を集めています。2016年6月には、α線核種として、Ra-223塩化ラジウムが去勢抵抗性前立腺癌骨転移治療の承認を初めて得ました。国際的には、種々の癌腫に対するα線治療が研究されており、我が国でも研究気運が高まっています。今回誘致した国際シンポジウムは、2年に1度開催されるもので、我が国での開催は初めてとなります。海外のα線研究者約100数十名、国内研究機関・国内関連企業から約150名の参加が期待されます。本学は、内用療法においては国内のオピニオンリーダー的存在であり、このことが誘致成功理由の一つとなったものと思います。

詳細は<http://nucmed.w3.kanazawa-u.ac.jp/symposium/tat10/>をご覧ください。皆様の参加を期待いたします。

開催日：2017年5月30日（火）～6月1日（木）

場 所：金沢市・石川県立音楽堂

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系核医学 TEL 076-265-2333

## 【開催告知】

### 平成29年 金沢大学十全医学会総会・学術集会

開催日：平成29年6月20日(火)

場所：金沢大学十全講堂

#### § 十全医学会総会

12:40 - 13:00

- I. 会長挨拶
- II. 庶務報告
- III. 会計報告
- IV. 編集報告

平成28-29年 事業計画および報告

- 1. 平成28年 決算報告
- 2. 平成29年 予算計画

#### § 金沢大学十全医学賞

13:00 - 13:30

平成28年度(第13回)金沢大学十全医学賞授与式

受賞記念講演 「胸椎後縦靭帯骨化症に対する革新的手術の開発と治療戦略の確立」

金沢大学医薬保健研究域医学系 整形外科学 助教 加藤 仁志 先生

#### § 学術集会『イメージングの進歩』

13:40 - 17:50

- 講演1. 金沢大学理工学研究域バイオAFM先端研究センター 准教授 古寺 哲幸 先生
- 講演2. 京都大学大学院医学研究科 皮膚科学 教授 椛島 健治 先生
- 講演3. 金沢大学医薬保健研究域医学系 核医学 教授 絹谷 清剛 先生
- 講演4. 「特別講演」日本医療開発研究機構 理事長 末松 誠 先生

【問合せ】金沢大学十全医学会  
TEL 076-265-2131  
E-mail:kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

# 金沢大学 十全医学賞

## 【平成29年度（第14回）金沢大学十全医学賞】 （応募規程）

**名 称** 本賞を『金沢大学十全医学賞』と称する。

**目 的** 本賞は医学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、なお将来の発展を期待しうる優れた若手研究者に対し、賞を与え顕彰することを目的とする。

**選考対象** 1. 会員歴5年以上の中より選考する。（応募時に会員は会費を完納している事）  
2. 応募締切日時時点で45歳未満とし、教授およびそれに相当する職位の者は除く。

**応募締切** 平成29年8月1日（火）必着

**応募書類** 1. 応募申込書と関連研究の別冊5編（オリジナル1部、そのコピー9部）（authorとして名前が入っている過去5年間の論文を事務局宛に提出する。提出書類は返却しない。なお、応募申込用紙はHPからダウンロードするか、様式（記載内容）が同じであれば応募者が作成したものを提出してもよい。  
2. 関連研究業績について  
1) 過去5年間で申請者が発表した論文、著書のうち、本研究に関する重要な論文名を10件選定する。なお、論文は掲載が決定しているものに限る。  
2) 記載は現在から順に発表年次を過去にさかのぼって、通し番号を付ける。  
3) 記載する発表論文については、著者名、論文名、掲載誌名、掲載誌のインパクトファクター、巻（号）、ページ、掲載年（西暦）を記載する。（添付した別冊の番号に○印をつける）  
4) 著者名が多数にわたる場合は、主な著者名を3名程度記入（申請者にはアンダーラインを付す）し、以下を省略する。省略した場合は、申請者が掲載されている順番及び員数名を記入する。  
例) 申請者名 1, ○○○, …… 他7名  
○○○, 申請者名 2, ○○○, …… 他9名  
3. 研究の概要を2000字以内にまとめて記載する。

**選考方法** 1. 会長は会長の委任による選考委員会を設置し、選考委員会の議を経て授賞者を決定する。  
2. 選考委員会が応募論文を審査の上、優れた研究者を選出する。

### 表彰および発表

1. 楯、および副賞 **20万円** を授与する。
  2. 当該年度十全医学会雑誌3号に受賞論文に関する総説を掲載する。
  3. 受賞講演を行う。
- ※受賞後であっても虚偽の事実や本要項違反行為が発覚した場合は、受賞を取り消し、賞金の返還を求める場合があります。

### 申請・提出先

金沢大学十全医学会（十全医学賞申請）  
〒920-8640 金沢市宝町13-1  
TEL：076-265-2131 FAX：076-234-4208  
E-mail：kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp  
<http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp>

## <平成 29 年度 金沢大学十全医学会研究集会補助申請 規約>

I. 会員（申請者）が主催する学会、研究会、シンポジウム、フォーラム、講演会 等に対して行う。ただし、1000名以上の集会で他の機関からの支援を受ける集会に対しては、補助の対象とならない場合がある。また、学部学生や大学院生のみに対する特別講義は本補助の対象にはならない。

II. 平成29年4月1日～平成30年3月31日までに開催する研究集会を対象とする

III. 補助については、以下の条件を定め、金沢大学十全医学会理事会にて選考する

参加人数	補助金	提出内容
100名以上	4万円	研究集会補助申請書, 研究集会開催報告書
20名～99名まで	2万円	研究集会補助申請書

### 1. 申請

- 1) 申請書は <http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp> よりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、参加人数100名以上の会は開催日1ヶ月前、参加人数20名～99名までの会は開催日10日前までに事務局へ提出する（電子メールにて提出）
- 2) 参加人数は開催期間中の合計延べ人数とする
- 3) 申請の受理については、事務局より受理の有無の連絡がある
- 4) 申請書の500文字は、十全医学会雑誌の **Information** に掲載する
- 5) 申請が受理された場合、ポスター、チラシ、プログラムなどのいずれかに「後援 金沢大学十全医学会」と記載し、1部を事務局に提出する

### 2. 開催報告書

- 1) 参加人数100名以上の研究集会は、閉会后20日間以内に研究集会開催報告書を提出する  
文字サイズ9pt（行間14pt） 2400字程度  
写真（開催した事がわかる写真） 2枚 （電子メールにて提出）  
報告書の提出がない場合、受理の取消しとなる場合がある
- 2) 報告内容は十全医学会雑誌最新号に掲載する
- 3) 99名までの研究集会の申請ならびに補助申請を伴わない場合は、開催報告書の提出は任意とする

3. 補助を受けた会員（申請者）は、十全医学会が主催する総会・学術集会（年1回）への参加を義務とする（学外会員はその対象ではない）

4. 補助費は研究集会閉会后に支給する

参加人数100名以上の研究集会（会員）に対しては、開催報告書の提出後に支給する。

5. 会員は、年会費を完納していることを義務とする

6. 提出先：金沢大学十全医学会 事務局

〒920-8640 金沢市宝町13-1

金沢大学医薬保健学総合研究科医学系（F棟1階 医学学務係内）

TEL：076-265-2131 FAX：076-234-4208

E-mail：kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp